

# アジア太平洋地域におけるシナジー実装の新たな一步を歓迎して

## IGES 理事長声明案

2026 年 7 月

2026 年 7 月、バンコクで開催された国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)第 9 回環境と開発委員会(CED9)において、Ministerial Declaration on Environment and Development in Asia and the Pacific, 2026 および Regional Programme of Action on Advancing Synergies for Sustainable Development in Asia and the Pacific, 2026–2030 が採択されたことを、IGES として心より歓迎します。

気候変動、生物多様性の損失、汚染という地球のトリプル・クライシスは、もはや別々に対応できる課題ではありません。これらは相互に深く結びついており、SDGs の達成、地域のレジリエンス、人々の健康、持続可能な経済社会の実現とも不可分です。今回採択された閣僚宣言および地域行動プログラムは、アジア太平洋地域がこうした複合的な課題に対して、統合的かつ実践的に取り組むための重要な道筋を示すものです。

私は今回、IGES 理事長としてバンコクを訪問し、2026 年 6 月 29 日から 30 日に開催された「第 7 回パリ協定と 2030 アジェンダのシナジー強化に関する国際会議」に参加しました。同会議は、SDGs および 2030 アジェンダを所管する国連経済社会局(UN DESA)と、パリ協定を含む気候変動に関する国際的な枠組みを担う国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局が共同開催し、ESCAP との協力の下で開催されたものであり、気候行動と SDGs をより効果的に結びつけるための重要な国際的取り組みです。

この会議の機会に、アジア太平洋地域の重要な成果として、Asia-Pacific Synergies Report: Advancing Synergistic Solutions to the Triple Planetary Crisis and the SDGs が正式にローンチされました。本報告書は、ESCAP、国連環境計画(UNEP)、アジア開発銀行(ADB)が共同で取りまとめ、日本国環境省がスポンサーとして支援し、IGES が事務局として全体調整を担いました。報告書は、UNESCAP のウェブサイトおよび IGES のウェブサイトで公開されています。

本報告書は、グローバル・シナジーの専門家部会に選定されているアジア太平洋地域の 4 名の専門家が共同リードを務めて作成されました。私もその一人として、報告書の取りまとめに関わりました。本報告書は、気候変動、生物多様性の損失、汚染という地球のトリプル・クライシスを、SDGs の達成と一体的に捉え、アジア太平洋地域における具体的な実践、政策、資金、データ、ガバナンスをつなぐシナジー型の解決策を示すものです。

本報告書は、導入に続き、健康を中心に据えた気候行動、生物多様性とネイチャーポジティブなネクサス・アプローチ、汚染対策と循環経済、都市を実装基盤とする取り組み、資金、データ・ツール、ガバナンスと地域協力など、アジア太平洋地域が直面する主要課題を横断的に扱っています。報告書本体では 36 の代表的なケーススタディを取り上げ、さらに 140 を超えるケーススタディを整理した補足資料も作成されており、政府、島しょ国、地域の都市、農村、企業、コミュニティがすでに進めている多様な実践を示しています。これらの事例は、シナジーが抽象的な理念ではなく、現場で実際に動き始めている具体的な解決策であることを力強く示しています。

本報告書の作成と CED9 への接続にあたっては、ESCAP、UNEP、ADB それぞれの専門性とネットワーク、そして IGES の知見と調整機能が結びつけられました。とりわけ ESCAP には、報告書作成プロセス全体の牽引、ケーススタディの収集、CED9 に向けた政府間プロセスとの接続、シナジー推進に関する地域行動プログラムの策定、そして CED9 において本報告書に光を当てる機会づくりにおいて、大きな役割を果たしていただきました。

UNEP には、地球のトリプル・クライシスに関する国際的知見を提供いただくとともに、アジア太平洋地域大臣及び環境当局フォーラムや国連環境総会(UNEA)等の場も含め、気候、自然、汚染を一体的に捉えるシナジーの議論を

発展させる上で重要な協力をいただけてきました。ADB には、共同取りまとめ機関の一つとして、地域開発、資金、実装の観点から本報告書の作成に参画いただきました。

日本国環境省には、長年にわたり、気候変動対策と SDGs のシナジーを国際的に推進する取組を継続的に支えていただいています。今回の成果は、その重要な到達点であると同時に、アジア太平洋地域で実装を本格化するための出発点でもあります。今後、地域行動プログラムを具体的な政策、資金、能力強化、実践につなげていくためには、環境省をはじめとする日本の継続的なリーダーシップと支援が一層重要になります。

さらに、CED9 初日の正式議題である Agenda item 3: Accelerating progress towards sustainable development through synergistic policies and solutions のラウンドテーブルにおいて、各国の大臣・政府代表の前で、本報告書の意義と主要メッセージを紹介する機会を得ました。本報告書が、第 7 回パリ協定と 2030 アジェンダのシナジー強化に関する国際会議での発表にとどまらず、直後の CED9 における閣僚級の政策議論と成果文書に接続されたことは、IGES にとっても大変意義深い成果です。

また、同プレナリーの一環として、IGES は ESCAP との研究協力に関する協力覚書(MoU)を更新しました。これは、IGES と ESCAP が、アジア太平洋地域における持続可能な開発、気候行動、環境政策、そしてシナジーの取組をさらに強化していくことを、組織として改めて確認する重要な機会となりました。特に、今回の MoU 更新を通じて、本報告書で示された知見を、地域協力、政策対話、能力強化、実装支援へとつなげていくことを確認しました。

本報告書が示す重要なメッセージは、アジア太平洋地域にはすでに多くの優れた実践が存在しているということです。今後の課題は、それらをつなぎ、学び合い、資金を動員し、データや指標によって複数の便益を可視化し、政策としてスケールアップしていくことです。

IGES は、第 18 回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム(ISAP2026)のプレナリーセッション“The Asia-Pacific Synergies Report and Regional Action Programme: Translating Regional Insights into Global and Local Implementation”をはじめとする機会を通じて、本報告書の知見を国内外の政策担当者、自治体、研究者、企業、市民社会の皆さまと共有し、地域の実践を政策形成、資金動員、能力強化へとつなげてまいります。本報告書を、単なる報告書として終わらせるのではなく、実装、連携、資金動員、政策形成のための共通基盤として活用していきたいと考えています。

この場を借りて、本報告書の作成と今回の成果に至るまで尽力されたすべての関係者に、深く感謝申し上げます。IGES 内では、Eric Zusman が報告書の執筆・編集面で中心的な役割を果たしました。また、小野田真二が ESCAP をはじめとする関係機関との連携・調整、執筆プロセス管理を含む全体のマネジメントを担い、藤野純一がプロジェクトの立ち上げとハイレベルな戦略立案及びコーディネーションを担いました。今回のバンコク出張でも、この 3 名が私に同行し、報告書のローンチ、CED9 での紹介、ESCAP との MoU 更新に関わる一連の対応を支えました。さらに、多くの IGES メンバーが、執筆、レビュー、ケーススタディ提供、イベント運営、広報、関係機関連携を通じて、本報告書と一連の成果を支えてきました。

改めまして、ESCAP、UNEP、ADB、日本国環境省をはじめとする関係機関のリーダーシップと協働に、深く感謝申し上げます。今回の閣僚宣言および地域行動プログラムの採択は、こうした多くの関係者の長年の努力と協働の積み重ねの成果であり、IGES としても大変誇りに思います。

同時に、今回の採択は終着点ではありません。むしろ、ここからが本格的な実装の出発点です。IGES は、ESCAP との更新 MoU も基盤としながら、ESCAP、UNEP、ADB、日本国環境省、そしてアジア太平洋地域の幅広いパートナーとともに、気候、自然、汚染、循環経済、都市、資金、データ、ガバナンスをつなぐシナジーによる解決策をさらに推進してまいります。

アジア太平洋地域から、持続可能でレジリエントな未来に向けた実践的なシナジーを世界に示していくことを、IGES は強く期待しています。IGES は、引き続き、知的基盤の形成と実践の橋渡し役として、地域の取組を国・地域・世界の変革へとつなげていくことに貢献してまいります。

## 武内 和彦

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)理事長

## 参考リンク

### ・CED9 公式ページ

<https://www.unescap.org/events/2026/CED9>

### ・ESCAP ニュース: Asia-Pacific ministers adopt new roadmap to tackle climate change, biodiversity loss and pollution together

<https://www.unescap.org/news/asia-pacific-ministers-adopt-new-roadmap-tackle-climate-change-biodiversity-loss-and-pollution>

### ・「第 7 回パリ協定と 2030 アジェンダのシナジー強化に関する国際会議」(UN 公式ページ)

<https://www.un.org/en/climate-sdgs-conference-2026>

### ・「第 7 回パリ協定と 2030 アジェンダのシナジー強化に関する国際会議」(UNFCCC 公式ページ)

<https://unfccc.int/event/seventh-global-conference-on-climate-and-sdg-synergies>

### ・「第 7 回パリ協定と 2030 アジェンダのシナジー強化に関する国際会議」(IISD 公式ページ)

<https://enb.iisd.org/global-climate-sdg-synergies-conference-7>

### ・Asia-Pacific Synergies Report: Advancing Synergistic Solutions to the Triple Planetary Crisis and the SDGs

<https://www.iges.or.jp/en/pub/asia-pacific-synergies-report/en>

### ・Supplementary Appendix: Compendium of Case Studies on Synergies in Asia and the Pacific

<https://www.iges.or.jp/en/pub/asia-pacific-synergies-report-appendix/en>

### ・第 18 回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム (ISAP2026)

<https://isap.iges.or.jp/2026/jp/index.html>